

第16回

地域活性化フォーラム

～岡崎市内大学所属の研究者による研究発表会～

日時 平成28年 5月14日(土) 14時～17時

参加
無料

会場 岡崎商工会議所 大ホール(岡崎市竜美南 1-2)

どなたもお気軽にご参加ください!

●愛知学泉短期大学

- ・『地域連帯を高めるための高齢者ボランティアが活躍できるサロンの提案』
生活デザイン総合学科 木村 典子 准教授 (専門: 老年看護学)



●愛知産業大学

- ・『火の見櫓を活かした景観まちづくり』
造形学部 建築学科 宇野 勇治 准教授 (専門: 建築設計、建築環境工学、環境デザイン他)

●愛知産業大学短期大学

- ・『岡崎市に定住する外国人親子に必要な日本語教育に関する研究』
国際コミュニケーション学科 川崎 直子 准教授 (専門: 第二言語習得研究・日本語教育他)

●人間環境大学

- ・『スクールカウンセリングと地域との連携
—学校と地域をつなぐ心理臨床的援助システムの模索—』
人間環境学部 坂本 真也 助教 (専門: 臨床心理学、スクールカウンセリング)

発表内容詳細は裏面
をご覧ください。

●岡崎女子短期大学

- ・『「鑑賞」から「関係」へ: アートと地域の持続的な関係構築の最新事例と、
岡崎市における適用の可能性の研究』
現代ビジネス学科 町田 由徳 准教授 (専門: プロダクト・デザイン)

主催 岡崎市 岡崎大学懇話会 NPO 法人21世紀を創る会・みかわ 岡崎商工会議所

【申込・連絡先】岡崎大学懇話会事務局(岡崎商工会議所 松岡・岡田) 電話0564-53-6190

岡崎大学懇話会事務局 宛 FAX: 0564-57-2189 E-mail: okada@okazakicci.or.jp

地域活性化フォーラム 参加申込書

| お名前 | TEL | FAX | 所属(団体名・会社名・学校名等) |
|-----|-----|-----|------------------|
| | | | |
| | | | |

※ご記入いただいた情報は、岡崎大学懇話会からの各種連絡・情報提供の為に利用する他、発表者に参加者名簿として配付します。

「地域連帯を高めるための高齢者ボランティアが活躍できるサロンの提案」

愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科 木村典子 准教授(専門:老年看護学)

14:15~
14:35

平成 26 年から岡崎市にて愛知学泉短期大学の学生、地域の高齢者施設と協働で、認知症カフェ活動を展開。高齢者同士交流の盛んな地域は、地域への愛着感が高く、認知症が疑われる人も少ない。また、認知症高齢者を受け入れる体制があり、高齢者の交流できる場作りによって、高齢者の介護予防につながると考えられる。本研究にて、高齢者が集まれるサロンづくりと高齢者ボランティア、学生が共に参加できる仕組みづくりを研究し、地域連帯を高めるために、高齢者ボランティアが活躍できるサロンの提案を行う。

「火の見櫓を活かした景観まちづくり」

愛知産業大学 造形学部 建築学科 宇野 勇治 准教授(専門:建築設計、建築環境工学、環境デザイン他)

14:40~
15:00

岡崎市内には、比較的多くの火の見櫓が現存しており、貴重である。それぞれの火の見櫓は特徴的な意匠や形態を有しており、これらを悉皆的に調査し、類型化などの整理、考察を行うとともに今後の活かし方について提案する。

「岡崎市に定住する外国人親子に必要な日本語教育に関する研究」

愛知産業大学短期大学 国際コミュニケーション学科 川崎 直子 准教授(専門:第二言語習得研究・日本語教育他)

15:05~
15:25

岡崎市にはいま世界 68 ヶ国 8,457 人の外国人が住み、定住化・永住化が進んでおり、日本人と外国人との共生社会の実現を目指すには外国人も日本語を学ぶ必要がある。本研究では、外国人の親子に意識調査として対面インタビューとアンケート調査を行い、2016 年に立ち上げる予定の親子で学べる日本語教室のカリキュラム策定、教材選択、教室運営につなげていく。岡崎市の研究者が市内で活動する NPO や外国人協会と協働することにより岡崎の地域活性化を図る。

「スクールカウンセリングと地域との連携 ―学校と地域をつなぐ心理臨床的援助システムの模索―」

人間環境大学 人間環境学部 坂本真也 助教(専門:臨床心理学、スクールカウンセリング)

15:35~
15:55

学校現場では、いじめや不登校、虐待、発達障害といった深刻な問題を抱えており、この問題対応を図るため、公立学校では「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置し、不登校やいじめの対応を行っている。学校内において、教職員、保護者、スクールカウンセラーの連携が必要不可欠であり、この連携関係をうまく構築することで、子どもたちに有益な援助を提供できると考えられる。本研究では、岡崎市において必要とされる学校と地域による援助関係・連携の在り方について探索的に研究し、連携モデルの提示を目指す。

「鑑賞から「関係」へ:アートと地域の持続的な関係構築の最新事例と、岡崎市における適用の可能性の研究」

岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科 町田 由徳 准教授(専門:プロダクト・デザイン)

16:00~
16:20

近年、日本各地で“アートによる地域活性化”の試みが行われ、複数の国際芸術祭が開催されているが、多く見られる課題点が「観光のスタンプラリー化」である。具体的には、芸術祭の会期中は多くの観光客が訪れるものの、観光客は「スタンプラリー」的に作品を鑑賞するだけで、継続的にその地域を訪問する動機に繋がらないという問題である。本研究では、「あいちトリエンナーレ 2016」開催を念頭に置き、地域の持続的な発展にアートを活用した先行事例を調査し、その成功要件を岡崎市に適用するための提言を行う。

★発表終了後に、交流会を開催します。ぜひ引きつづきご参加ください。

岡崎大学懇話会とは？



岡崎市内の大学(愛知学泉大学・愛知学泉短期大学、愛知産業大学・愛知産業大学短期大学、人間環境大学、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学)で構成する組織です。それぞれの大学の学問的特性を活かして、地域と地域産業の活性化を推進することを目的に活動しています。様々な分野で連携させていただきますので、ご希望の方は事務局まで、ぜひご連絡ください。

岡崎大学懇話会ホームページ <http://www.okazakicci.or.jp/konwakai/>